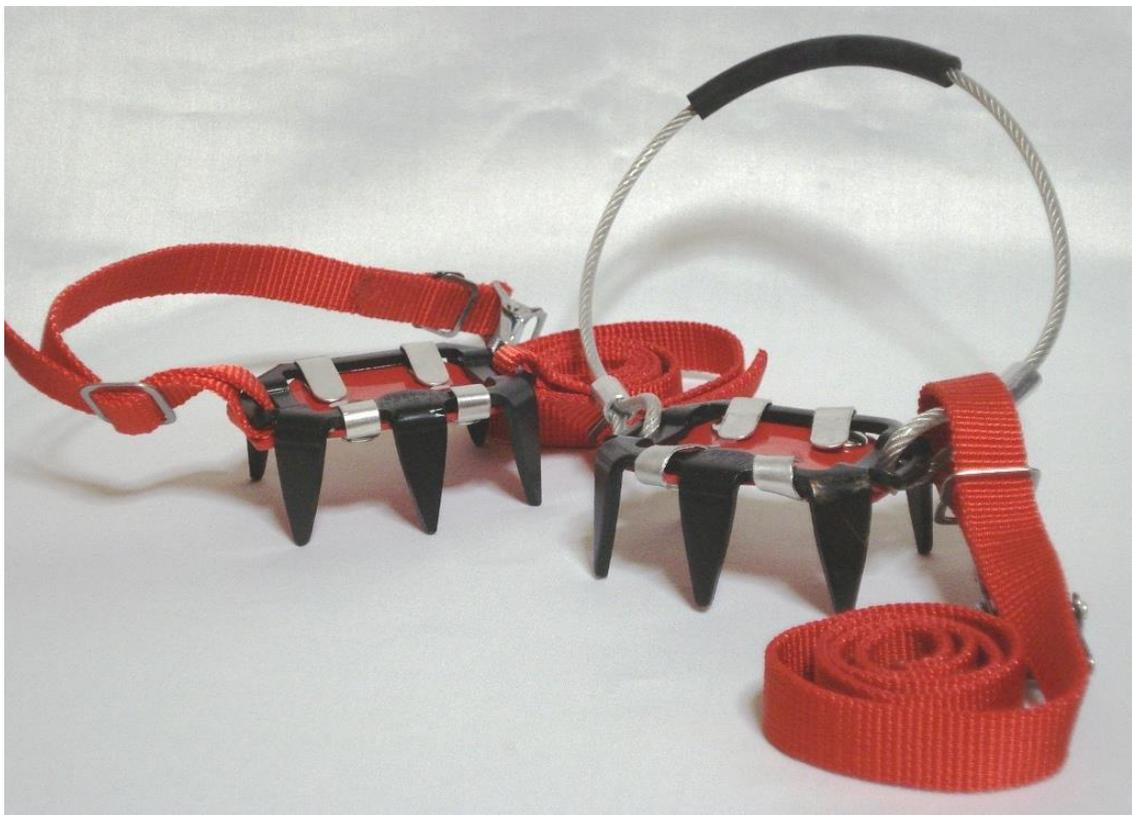




軽アイゼン
5P シリーズ



-DATA-

クロモリ鋼製/黒色電着塗装

種類: クロモリ5Pset(ST29), クロモリ5P \bar{c} set(ST27)

価格:3,402円(税込)、3,510円(税込)

当社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048(281)1322 FAX 048(286)0866

<http://www.exp-japan.jp> e-mail: exp.offjapan@gmail.com



残雪&雪渓の季節にお勧めのエキスパートオブジャパンだけのアイデアステッキ！

たよれるニッポン

3 段ピックステッキ (S10)

ヘッドはクロモリ鋼、焼き入れ済みのピッケル形状。ただし、ピッケルではない。あくまでもステッキです。

○小バスケット付き。シャフトは A7001(超ジュラルミン) 製楕円形のパイプの 3 段式。

○長さ調節に腕力を必要とせず操作も簡単です。手がかりのないところではピック部を地面に打ち込んで通過できます。足元が不安定なところではブレード部で足がかりをつくれます。バランスを保ち、スリップ防止にも役立ちます。

グリップはクロモリ鋼アイゼンと同じ焼入れ加工。ラチェット式。ヘッドはピッケル形状。

カラー(2色)・ワイン 最短 532mm×最長 1007mm重量 325g

……シルバー 最短 499mm×最長 965mm 重量 320g

(バスケット大、小、ピックカバー、石突プロテクター付)

税込価格:¥12,960(本体価格¥12,600)

3段ピックステッキにはバスケット大が
取付けられます。(直径 96φ、押込式)。
バスケット大をつけるとステッキが
雪にもぐらずに行動できます。



バスケット大
税込価格¥1155



Go-Go ニッポン

ステッキ&ストック用石突プロテクター。

カラー:黒

重量:10g

税込価格:¥864

(本体価格¥800)

エキスパート商品のステッキシリーズ、ストックシリーズ、3 段ピックステッキに対応します。

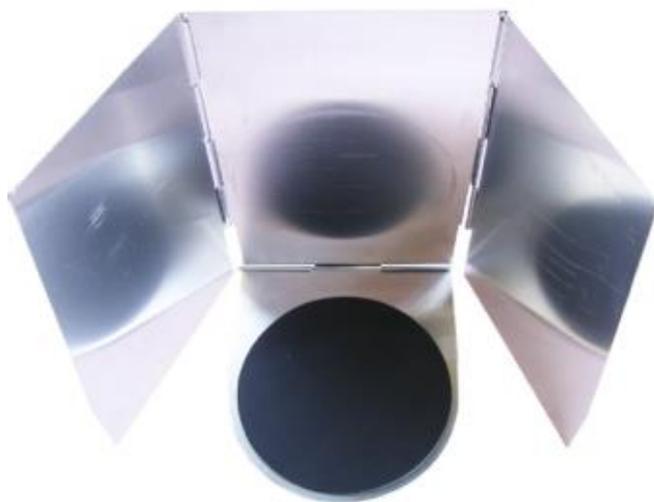
キャンプ & 登山シーンで活躍するアイテムをピックアップしました。アウトドアシーンの脇役でありながら、効果は抜群の便利アイテムです。

はばたけニッポン

風防 (C13)

優れたバーナーのパフォーマンスをさらに向上させる重要アイテムです。折り畳むのとコンパクトに収納可能です。
風を防ぎコンロの熱効率を高め火力を安定させます。

材質:アルミ製
カラー:シルバー
展開寸法:幅 422 mm×高さ 220 mm×直径 130 mm φ
のゴムを張ったバーナー台つき
収納寸法:厚さ:4 mm×150 mm×220 mm
重量:195g
税込価格:¥3,888 (本体価格¥3,600)
テント設営に便利なアイテムです。



まじめなニッポン

6 mm φ ロープが使えるランナー 3 種

アルミランナー (C1) 10 個入

アルミ製 カラー:シルバー 重量:1.5g
穴径:7 mm φ ロープ有効径:3 mm φ ~ 6 mm φ
税込価格:¥658 (本体価格¥610)

スーパーランナー (C2) 10 個入

ジュラルミン (A5052) 製 カラー:シルバー
重量:3g 穴径:7 mm φ
ロープ有効径:3 mm φ ~ 6 mm φ ロック可能
税込価格:¥831 (本体価格¥770)

スーパーランナー-L (C3) 2 個入

ジュラルミン (A5052) 製 カラー:シルバー
重量:15g 穴径:10 mm φ
ロープ有効径:6 mm φ ~ 9 mm φ ロック可能
税込価格:¥475 (本体価格¥440)



※取扱方法はパッケージに印刷してあります。

こんな便利なランナーは他にありません。ユーザーが喜ぶキャンプの必需品です。

(注意)ランナーはパック単位となります。ご注文の際はご注意ください。

やまのかたりべ 第69章 富士山

毎年新緑の季節に体力測定なる富士登山を夫との恒例行事にしている。富士山に登るときは前夜に出発し 5 合目にて仮眠、体を高所に慣れさせ翌日登山というスタイルで毎年臨んできたが、この時期の五合目は夜中も車やバイクがきて熟睡できない。前夜に出発するか、当日早く起きて出発するか夫とぎりぎりまで悩んだ結果、家にてしっかり睡眠をとる方を選択。前日に登山に必要なものを車に積み込み、日付けが変わる前に就寝。

5月15日(日) AM3時30分起床

お湯を沸かし持参するお茶の準備。冷蔵庫に入っている行動食を取り出しテルモスと一緒にバックに放り込む。

4時10分 自宅を出発

コンビニで朝食と昼食を購入しいよいよ出発。天気は快晴、登山日和である。

東名で御殿場口まで向かう。今年も「富士宮登山口」から富士山頂を目指す。

<ポイント1>

富士宮口ルートは別名「表口登山道」といわれる。もとは平安時代に建てられた富士山本宮浅間大社のある南麓が表玄関であった。しかし、江戸時代の富士講(講社)の隆盛によって江戸に近い吉田口がメインルートになったという歴史的背景がある。(日本百名山富士山 朝日出版社参考)

詳細を知りたい方は下記のホームページ参照。

<http://www.sengenjinja.jp/index.html>

6時40分 富士宮登山口新5合目(標高2,400m)到着

頑張って運転をしてくれた夫だが「眠い！」とのこと。ここで15分ぐらい仮眠をとる。その間私はせつせと登山準備を始める。



毎年来ているが、一目瞭然、今年は雪が少ない。……果たして大滑り台、今年は可能であろうか？？しかしこの雪の少ない状況でもスキーやボードをかついで登っている人たちがいるではないか…。5合目から見る限りで上記写真のような状態。上部には雪が残っていると期待しつつ山頂を見上げる。

7時20分 出発

眠い眠いと連呼する夫、ここまで来たのだから登りましょう～。日焼け対策もしっかりして出発。

5 合目から 6 合目……本当に雪がない。



(雲海荘より、宝永山との分岐点)



(6 合目より、雲海は既に眼下に)

10 時 20 分 元祖 7 合目到着

上部から楽しそうにソリーで滑ってくる若者たちの声がする。その先頭を気持ちよくグリセードで滑っていく一人の男性。実はこの男性、数年前自分たちが雪山を始めるにあたり、はじめてガイドをお願いした方だ。その後も何度かバリエーションにも連れていってもらいロープワークを教えていただいた。



(↑ 7 合目より上部
楽しそうに滑ってくる若者達 →)



ご挨拶できなかったのが残念だったが、楽しそうに富士山行を楽しんでいる若者たちを見て、相変わらず素敵な仕事をしているな〜と遠くからぼんやり見つめていると、遅れて夫が到着する。気を取り直して、我々は山頂を目指すことに。

7 合目から、夏道から右にずれれば残雪が出現していたが、8 合目まで夏道で登ることにする。標高も 3,000m を超え、心臓がバクバクしてくる。…体力的には大丈夫であっても肺活量が低下しているようだ。

10時45分 8合目到着

いよいよ雪上を歩く。アイゼンを装着。「やっぱりこうでなくちゃね～」とテンションがようやく上がってくる夫。よかったよかった。スキーを担いでいた人が「雪が出てきて安心しました～」と笑顔で話しかけてくる。「本当にそうですね」とこちらも笑顔でかえす。



<ポイント2>

富士宮ルートは4つある富士山の登山ルートの中で一番山頂までの距離が短いコースであるが、夏は日の出位置が北に寄っているため8合目以上でないにご来光が見られない。(日本百名山富士山 朝日出版社参考)

8合目から山頂まで、心置きなく雪道を楽しむ。自分たちにとったら今シーズン最後の残雪登山となる。9合目から山頂を目指すスキーヤー、ボーダーの板が太陽の光でキラキラしているが、なかなか進まない。

最後の登り、いつもながらこの少しがきつい富士山。

11時50分 9合目到着

お茶を飲み一息……。8合目で会話したスキーの方は我々より一歩先に山頂に向かっている。今回は各小屋で結構休憩をとっているが、高山病の症状である頭痛が出そうな予感がする。

9合目を出発し、ゆっくり息が切れないように登る。頂上直下になると夏道が出ている。折角アイゼンを付けているので、夏道から左にそれて山頂を目指す。結構傾斜があり、ところどころ岩が見えている。我々が登っている時、ここをボーダーの方が滑って降りようとしていた。「ボード付けて降りられそうですか？」と尋ねてくるボーダーに「岩が出ているのでもう少し下からのほうがいいと思いますよ」と答える夫。岩が出ていなくても、よくこんなところが滑れるものだと感心してしまう。



(↑ 山頂直下 →)



12時50分 山頂到着(剣ヶ峰には登っていない)

山頂はまだそれなりに雪が残っていたが昨年と比較するとやはり少ない。

いつもの火口付近まで行きお昼休憩をとる。風も強くなく、暖かい穏やかな富士山である。

13時25分 下山

今年はオーバーパンツ(ゴアテックスのパンツ)を履くことなく山頂に登れた。大滑り台をするにはオーバーパンツを履くのが必須であるが、履くにはアイゼンやスパッツを一度外さなければならない。…よし、今回はグリセードを習得して帰ろう!!とすることで、持参したソリーは使用せず。夫のほうは最初からオーバーパンツを履いていたので9合目から大滑り台の開始である。



(山頂風景)



(山頂からの下り)

私のグリセードはどうしても最初は腰が引けてしまう。何度も転びそうになりながら体勢を整える。下っているのに息が切れる始末。膝上の筋肉が非常に疲れる。しかしコツをつかんだのか、8合目途中からいい感じにバランスがとれ、それなりに滑れている。7合目に向かう頃には、夫に「うまくなったね」と言われた。「やった!!」

6合目からは、夏道にて下山。雪溶け水が登山道を流れている。今日一日でも結構溶けたようだ。

14時50分 雲海荘到着

暑さのせいもあるが、疲れきった多くの登山者が休憩中。

15時15分 新5合目到着

荷物を車に片付ける際に、ちょっと油断して半袖になったら見事に日焼けしてしまった…。富士山の紫外線は侮れない。そして案の定、高山病(一気に下るので、私の体は気圧の変化に順応できず)になり、高速に乗ってもしばらく頭痛が治まらない。珍しく夫も頭が痛いと言っていた。熱中症か??

今年も富士山、無事登れてよかった。
しかしタイムはというとだんだん遅くなってきている
ようで……体力は年々衰えている…。

何かトレーニング、考えないといけませんね。

5月15日(日)

7時20分 新5合目出発
10時40分 8合目着
12時50分 富士山頂着
13時25分 富士山頂発
15時15分 新5合目着



(奥に剣ヶ峯)

同行者:松田次郎

文責:松田留美

安心のニッポン ガス抜きレンチ (C14)

エキスパートオブジャパンの便利グッズをご紹介します
登山以外で使える生活用品。

<一家に一個あれば便利>

各種スプレー缶、カートリッジ式ガス缶用。缶の底部にレンチの先端を引っ掛け、グリップを押すと、この原理で簡単に穴があき、缶内の残留ガスが放出されます。ガス抜きは必ず火気のないところで行ってください。水の中でガス抜きすると安全にガス抜きができます。きりにはガス抜き溝がついています。きりの回転でガスの放出方向が選べます。

きり: 黒色焼入鋼製

重量: 70g

税込価格: ¥1,814 (本体価格 ¥1,680)



Made in Japan の現場より写真レポート Vol.3

2016 年は例年よりもクマ被害が目立ちます。秋田でのクマによる連続死亡事故は衝撃的なニュースでした。しかもヒグマと比較すると、小型でおとなしいはずのツキノワグマの被害だった事も印象に残りました。世界的な気候の変化に伴い、動物の生態に変化が起きているのではないかと思われてなりません。

エキスパートオブジャパンは、日本製のクマ除けベルを生産し続けています。

今回はエキスパートオブジャパンの代表商品であるベルシリーズの金型をご紹介します。真鍮素材を写真の様な金型によってベルの形に一つ一つ作り上げていきます。小さな金型であっても、使用しない場合は常に油をさして錆びや劣化を防ぐように大切に保管されています。写真の茶色く見える表面は油の色です。

人には美しい音色として響くエキスパートオブジャパン製のベルシリーズ。登山者やキャンパー、山菜採りの人達をクマから守ってくれるように、丹精込めて生産しています。



文責: 松田 次郎